

聖書に登場するマリアたち

1. イエスの母マリア

マタイ	1:16 ヤコブは マリア の夫ヨセフをもうけた。この マリア からメシアと呼ばれるイエスがお生まれになった。
	1:18 イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母 マリア はヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。
	1:19 夫ヨセフは正しい人であったので、 マリア のことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。
	1:20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻 マリア を迎え入れなさい。 マリア の胎の子は聖霊によって宿ったのである。
	1:21 マリア は男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」
	1:25 男の子が生まれるまで マリア と関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。
	2:11 家に入ってみると、幼子は母 マリア と共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。
	13:55 この人は大工の息子ではないか。母親は マリア といい、兄弟はヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。
マルコ	6:03 この人は、大工ではないか。 マリア の息子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではないか。姉妹たちは、ここで我々と一緒に住んでいるではないか。」このように、人々はイエスにつまずいた。
ルカ	1:27 ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名は マリア といった。
	1:29 マリア はこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。
	1:30 すると、天使は言った。「 マリア 、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。
	1:34 マリア は天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」
	1:38 マリア は言った。「わたしは主のはしめです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。
	1:39 そのころ、 マリア は出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。
	1:41 マリア の挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリサベトは聖霊に満たされて、
	1:46 そこで、 マリア は言った。
	1:56 マリア は、三か月ほどエリサベトのところに滞在してから、自分の家に帰った。
	2:05 身ごもっていた、いいなずけの マリア と一緒に登録するためである。
	2:06 ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、 マリア は月が満ちて、
	2:16 そして急いで行って、 マリア とヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。
	2:19 しかし、 マリア はこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。
	2:34 シメオンは彼らを祝福し、母親の マリア に言った。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。
ヨハネ	2:01 三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があつて、 イエスの母 がそこにいた。
	19:25 イエスの十字架のそばには、 その母 と母の姉妹、クロパの妻 マリア とマグダラの マリア とが立っていた。
使徒	1:14 彼らは皆、婦人たちやイエスの母 マリア 、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。

【参考】イエスの十字架の時、そばにいた人たち(人名等は聖書の記述順)

マタイによる福音書	27 : 56	① マリア (→子：イエス、小ヤコブ、ヨセ (ヨセフ)、ユダ、シモン) ② マグダラのマリア ③ ゼベダイの子 (大ヤコブ、弟のヨハネ) らの母サロメ
マルコによる福音書	15 : 40	② マグダラのマリア ① 小ヤコブとヨセ (=ヨセフ) の母マリア ③ サロメ (→ゼベダイの子である大ヤコブと使徒ヨハネの母なるマリア)
ヨハネによる福音書	19 : 25	① マリア (←その母) ④ 母の姉妹 ⑤ クロパの妻マリア ② マグダラのマリア } 回復訳：イエスの母の姉妹でクロパの妻マリア →母の姉妹＝クロパの妻マリアとが同じ人

2. マグダラのマリア (Mary Magdalene)

マタイ	27:56 その中には、マグダラの マリア 、ヤコブとヨセフの母 マリア 、ゼベダイの子らの母がいた。
	27:61 マグダラの マリア ともう一人の マリア とはそこに残り、墓の方を向いて座っていた。
	28:01 さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラの マリア ともう一人の マリア が、墓を見に行った。
マルコ	15:40 また、婦人たちも遠くから見守っていた。その中には、マグダラの マリア 、小ヤコブとヨセの母 マリア 、そしてサロメがいた。
	15:47 マグダラの マリア とヨセの母 マリア とは、イエスの遺体を納めた場所を見つめていた。
	16:01 安息日が終わると、マグダラの マリア 、ヤコブの母 マリア 、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。
	16:09 「イエスは週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラの マリア に御自身を現された。この マリア は、以前イエスに七つの悪霊を追い出していただいた婦人である。
	16:10 マリア は、イエスと一緒にいた人々が泣き悲しんでいるところへ行行って、このことを知らせた。
	16:11 しかし彼らは、イエスが生きておられること、そして マリア がそのイエスを見たことを聞いても、信じなかった。
ルカ	8:02 悪霊を追い出して病気をいやしていただいた何人かの婦人たち、すなわち、七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれる マリア 、
	24:10 それは、マグダラの マリア 、ヨハナ、ヤコブの母 マリア 、そして一緒にいた他の婦人たちであった。婦人たちはこれらのことを使徒たちに話したが、
ヨハネ	19:25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻 マリア とマグダラの マリア とが立っていた。
	20:01 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラの マリア は墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。
	20:11 マリア は墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中を見ると、
	20:13 天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、 マリア は言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」
	20:15 イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」 マリア は、園丁だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」
	20:16 イエスが、「 マリア 」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。
	20:18 マグダラの マリア は弟子たちのところへ行行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。

マグダラのマリアは、新約聖書に登場するイエス・キリストの重要な女性弟子の一人で、「七つの悪霊を追い出していただいた」(ルカ 8:2) 人物で、イエスの宣教に同行し、物質的に支えた。イエスの十字架刑、埋葬、復活の場面に立ち会い、特に復活のイエスに最初に出会った人物として、弟子たちにその知らせを伝える役割を担いました(ヨハネ 20 章)。「使徒たちへの使徒」とも呼ばれ、復活の証人として極めて重要な人物とされ、信仰と忠実さの模範として、多くの人に影響を与え続けている。

3. マルタの姉妹マリア (ベタニアのマリア)

ルカ	10:39 彼女には マリア という姉妹がいた。 マリア は主の足もとに座って、その話に聞き入っていた。
	10:42 しかし、必要なことはただ一つだけである。 マリア は良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」
ヨハネ	11:01 ある病人がいた。 マリア とその姉妹マルタの村、ベタニアの出身で、ラザロといった。
	11:02 この マリア は主に香油を塗り、髪の毛で主の足をぬぐった女である。その兄弟ラザロが病気であった。
	11:19 マルタと マリア のところには、多くのユダヤ人が、兄弟ラザロのことで慰めに来ていた。
	11:20 マルタは、イエスが来られたと聞いて、迎えに行ったが、 マリア は家の中に座っていた。
	11:28 マルタは、こう言ってから、家に帰って姉妹の マリア を呼び、「先生がいまして、あなたをお呼びです」と耳打ちした。
	11:29 マリア はこれを聞くと、すぐに立ち上がり、イエスのもとに行った。
	11:31 家の中で マリア と一緒にいて、慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がって出て行くのを見て、墓に泣きに行くのだらうと思い、後を追った。
	11:32 マリア はイエスのおられる所に来て、イエスを見るなり足もとにひれ伏し、「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに」と言った。
	11:45 マリア のところに来て、イエスのなさったことを目撃したユダヤ人の多くは、イエスを信じた。
	12:03 そのとき、 マリア が純粋で非常に高価なナルドの香油を一リトラ持って来て、イエスの足に塗り、自分の髪でその足をぬぐった。家は香油の香りでいっぱいになった。

4. ヤコブとヨセフ(ヨセ)の母マリア

ヤコブの母マリアは明確に家族関係が記されており、他のマリアとは区別され、イエスの母マリアとは別人と思われる。

マタイ	27:56 その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセフの母マリア、ゼベダイの子らの母がいた。 Among which was Mary Magdalene, and Mary the mother of James and Joses, and the mother of Zebedee's children.
マルコ	15:40 また、婦人たちも遠くから見守っていた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、そしてサロメがいた。 There were also women looking on afar off: among whom was Mary Magdalene, and Mary the mother of James the less and of Joses, and Salome;
	15:47 マグダラのマリアとヨセ(ヨセフ)の母マリアとは、イエスの遺体を納めた場所を見つめていた。 And Mary Magdalene and Mary the mother of Joses beheld where he was laid.
	16:01 安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。 And when the sabbath was past, Mary Magdalene, and Mary the mother of James, and Salome, had bought sweet spices, that they might come and anoint him.
ルカ	24:10 それは、マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいた他の婦人たちであった。婦人たちはこれらのことを使徒たちに話したが、 It was Mary Magdalene, and Joanna, and Mary the mother of James, and other women that were with them, which told these things unto the apostles.

5. マルコと呼ばれるヨハネの母マリア

このマリアは、バルナバの伯母で、彼女の家がキリスト者の集会所だったと思われる(コロ 4:10)。

マルコと呼ばれていたヨハネは一時パウロと共に働いた(使徒 12:25、15:37～40)。

使徒	12:12 こう分かったとペトロは、マルコと呼ばれていたヨハネの母マリアの家に行った。そこには、大勢の人が集まって祈っていた。
----	---

→コロサイの信徒への手紙 4 : 10

わたしと一緒に捕らわれの身となっているアリストアルコが、そしてバルナバのいとこマルコが、あなたがたによろしくと言っています。このマルコについては、もしそちらに行ったら迎えるようにとの指示を、あなたがたは受けているはずです。

→使徒言行録 12 : 25

バルナバとサウロはエルサレムのための任務を果たし、マルコと呼ばれるヨハネを連れて帰って行った。

→使徒言行録 15 : 37～40

バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネも連れて行きたいと思った。しかしパウロは、前にパンフィリア州で自分たちから離れ、宣教と一緒に行かなかったような者は、連れて行くべきでないと考えた。そこで、意見が激しく衝突し、彼らはついに別行動をとるようになって、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ向かって船出したが、一方、パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。

6. ローマ 16:6 のマリア

文脈から不明、おそらく一般的な信徒の一人と思われる。

ローマ	16:06 あなたがたのために非常に苦労したマリアによろしく。
-----	---------------------------------